

動く世の中、視点を変えれば見えてくるものがある。ホンネで言いたいことがある。



瓦ばん！

平成23年10月2日発行 季刊

発行責任者：根っから地元派 ばん よしはる

ban-4@ares.eonet.ne.jp

第17号

こんにちは、ばんよしはるです。朝晩と日中の気温差が大きいので、皆さん体調管理にくれぐれも気をつけてください。

前号で書かせていただきました、電力不足問題は夏のピークを何とか皆の努力で乗り切ることができましたが、これからのエネルギー問題解決については、まだ道筋がついていないのが現状です。

斑鳩町役場では、本年7・8月度で昨年比約15%節電することができました。いかるがホールや生き生きプラザ斑鳩を含め、秋に入っても引き続き節電を続けておりますので、庁舎内が少し暗いという印象を来られたときに思われるかもしれませんが、このような事情があるからです。

また、斑鳩町としては岩手県大槌町に対する、いろいろな面での復興支援も、新しい町長と議会議員が選出されたことを一つの区切りとして、8月末で終了いたしました。

ところが、今回の台風12号・15号による、奈良県南部への災害が発生したことにより、人的応援として役場から1名十津川村に派遣決定され、役場等で義援金も受付が始まりました。

今回の奈良県の大雨による土砂災害は、斑鳩町でもありえることですし、地震も生駒断層の関係で、何時襲われるかもしれません。

斑鳩町としては、来年に「防災計画」を更新する予定で、新しい今の状況にあった、地震、水害等が発生した時の事案ごとの、避難場所等の設定を含めた、きめの細かいものするための作業にかかっています。

しかし、どのような防災計画が出来たとしても地域の絆の大切さが前提となります。

そして、この9月議会では、平成22年度決算審査を行いました。

新しい話としては、コミュニティバスをテーマとした質疑の中で、理事者から平成25年度を目処にどのような形にするかは研究中だが、住民にとって便利な生活の「足」を確保・充実をさせるとの回答がありましたことを、ご報告させていただきます。

これからは、皆さんが安心して暮らせるまちづくりを推進するために、多くの住民の声が行政に届くことが必要になってきます。

今日より、少しでも明日が良くなる「まち」にするために！

町行政と住民の皆さんの想いが一つになり、その想いが強ければ、不可能なことはないはずです。

まちの未来は、住民一人ひとりの想いで変えられるということです。



この「瓦ばん！」では町議会議員の毎日の中で感じたこと、活動や思ったことを紹介していきますので、皆様からのご意見・ご感想がありましたら、お知らせ下さい。宜しくお願いいたします。